

女子、男子共に大混戦

ラピス、ウイングが台風の目

女子の部では、昨年のランキング1、2位のメッツとベネトンの解散、辞退で、俄然混戦模様になりそう。特に、組合せ終了後、辞退したベネトンのパートにキャッツが繰上になったことが、他のチームにどう影響するかが鍵になる。

いずれにおいてもシードチームが頭一つリードしているが、今回は特にラピス、ウイングに注目したい。センターからの速攻を得意とする両チームは、共に厳しいパートに入って入るものの対戦相手チームが両チームのデータ不足という利点を生かせば、かなり期待できる。

この両チームと対照的にアトミックスは、大エース宮川の欠場で戦力低下が懸念されるDNA、メンバー不足で苦しむ、いちごみるく、ワンピースと同パートで組合せに恵まれた。ただ、破壊力抜群、速攻WISH、試合巧者のアズワンに一泡吹かせれば、大会初の昇格即Aリーグ入りも期待できる。

しかしながら、チーム合同練習が十分出来ていないことが残念である。そこは、抜群のセンスを持つ村上が、ゲームをつくる働きに徹せるかどうかにかかってくる。古賀を筆頭に頭を使ったプレーこそ出来ないものも明るさだけは、どのチームにも負けないものがあるだけに、その明るさに期待したい。

優勝候補の筆頭には、安定感抜群のパンゲアをあげたい。地味ではあるが、ポジション取りの上手いレジーバーの森永、テニスで鍛えた強烈なリスト、体力を誇る豪打の月田、センスの塊、東矢、ブロックの名手でチーム司令塔の大久保と全員が勝利の方程式を熟知し、安定感がある。

このパートには、ミニバレーを知り尽くしている優勝候補のGet、チーム力がアップしてきている古豪ブレンド、強打の助っ人加入で雪辱に燃えるはずれもん、チームワークのヤンキーズもあり、大激戦パートで、予選から白熱した試合が展開されるであろう。

激戦パートといえば、夫婦喧嘩（純子、浩古）で暫く不調和音が心配されたばらだいを筆頭に、これまたチーム崩壊が心配されたGラッシュ、センス豊かな八王子、数少ない倶楽部チームで頑張るアイリ

ッシュとスピードも侮れない。このパートで、波に乗ると、Aリーグでの活躍も期待できる。

Dパートは、益田の抜けた穴を荒木、美紀ちゃんがどれだけカバーできるかがポイントになる。

最近、めつきりジャンプ力がなくなった（ヤクルトジャンプ）永田、野田をオールラウンダーの森田がいかに使おうかがポイントになってくる。惜しむべきは、年齢的な問題で今回出場できない橋本の老練さが使えないのが痛い。

リストスペクトも「コートが狭い」と嘆く井上の体力が問題となる。

農閑期でミニバレーに集中できる早川を始め、謎の美熟女集団のフェアリーも虎視眈々と上位を狙う。個々のセンスはあるはずなのに、なんでものFKS、デビルズも、もうボチボチ考えて勝ち方を習得してもらいたいものである。

Eパートでは、お下げ髪で年齢不詳の園田ママ率いるピースV21が頭一つ抜けている。とはいえ、年齢からくる腰痛に悩まされているだけに体力的な問題も懸念される。対角アタッカーの渕本も切れ味鋭いアタックはあるものの、弱気な一面が災いするかもしれない。守備陣の尾上、川田の頑張り次第。ピースに対抗するのは、体格の割

には、弱気なプレーをする大会トップクラスのアタッカー藤森を擁する秋桜。最近、メンバーの固定化でスムーズな動きも出来ており、機敏な動きを見せる金床の成長も大きい。精神的もろさはあるが、しっかりと技術を持つ田原、それに、チームのまとめ役で、身長はないが、横は十分な宮崎が初のAリーグ入りを目指す。

山下が抜けたものの、チームワークで勝負するMAXも実力があり、当然上位をうかがう。

シャドーは、花里が体重増からくる膝痛でベストプレーはできないけれど、全員が試合巧者で侮れない。ぽっぷこくん、キャッツは、辞退チームが出たための昇格ではあるが、過去の予選で、それぞれベネトン、ばらだいに勝った実績もあり、緒戦の出来次第では十分上位を狙える。何よりもツキも味方しているよう思える。



脅威！2枚の速攻ラピス

田中を中心にバスケットで鍛えた強力な脚力とリストでの速

攻は、他のチームにとって脅威になる。それを支えるセッターのトス回しにも注目したい。

研究熱心なウイングは台風の目

野性味溢れるジャンヌ福重、川元を始め美女軍団ウイングは、研究熱心であり、試合中もチームメイトを励ましあう声、姿に痺れる。柔らかなトスの鶴野も健在で、今回の台風目になるだろう。問題はメンバー編成になるだろうが、とにかく痺れさせて欲しい??

注目のJ2

新生、柴田のNOEL

昨年の覇者メッツ解散後の新生NOELに注目したい。中心は、やはり柴田と山下。二人とも実力十分で、実績もあり、屈指のユーティリティプレイヤーであるので楽しみではあるが、如何せんチームを組んで間もないことが不安材料として残る。上手く組み立てられれば、最上位になる可能性が高い。

そのNOELを予選会で倒し、勢いに乗る「まぐにちゆくど」も攻守のバランスがとれ、何といっても宮川、白石と2枚のアタッカーが強力。どこからでも攻撃できる強みで、上位3位を狙う。

アールグレイ、ポパイとも強力アタッカーを擁するが、如何にい

い球回しでアタッカーにつなぐかが課題になる。

地味ではあるが、HERTSの早い攻撃も侮れない。どのチームも脅威的存在になるであろう。

これらを迎えうつ、昨年の残留組も強力である。僅かな差で昇格を逃したマーガレット、両シークレットも攻守にバランスがとれ、実力十分。若さのピースも徐々にはあるが、力をつけてきた。もつと食欲になれば、十分上位を狙える存在である。

リファインは、平山ジュニアが試合に出場できれば、平山母の負担も軽くなるのだが・・・ジュニアのアタックは、ボールが破裂するくらい物凄い破壊力だけに残念である。

ポカの多い?しすいラドン温泉も今回救われた感があり、気楽に大会に臨めることで肩から、余計な力が抜け活躍しそうである。いちごみるくBは、諸問題を解決して出場してきただけに、一致団結し、いい意味で心機一転頑張

れると思う。



KIYOBABO見聞録

「フリー」と「トラフ」
「トラフ」という新語を作ってみた。トラフとは、トラブルフリー。つまり、どこそのチームにお邪魔するだけではなく、行った先々で迷惑をかけ、そのクラブの人間関係まで破壊してしまう恐怖のウィールスのことです。

決して「フリー」で楽しくミニバレーをしている人ではありません。最近よく、「トラフが来て、チームに承諾なく、所属部員を誘い大会に出たため、そのクラブは大会に出場できなくなりました。」とか「トラフが、練習日ということを承知の上で所属部員を誘い他のクラブの練習に行った。」等の相談がきます。この行為は自分がお世話になったクラブに対する背信行為です。

このような自分さえよければという行為は慎むべきです。例え、フリーがどんなに楽しいものであったとしても、フリーの仁義をわきまえ、決してトラフにならないように強く望みます。

それさえできないようなら、トラフチームを作り、練習場の手配から全て自分たちですることしかありません。

(SSK)

コスモVカップ

クラブチャンピオン大会

本年度から、クラブ・チャンピオンシップ「コスモVカップクラブ大会」を年2回、左記の予定で開催します。若干の空きがありますので、大会実行委員会、清田までお申出下さい。

第1回大会 5月9日(日)

第2回大会 9月12日(日)

両大会ともVイーブルです。

あっ!男子の部もあつた!

今年は、チーム合体があり、全体的に混戦模様。そういうことで、無幻、シャーマン、デビルズ、はずれもん、秋桜あたりの争いになりそう。

以上